

「あなたの目の前にあるもの」

(詩篇101篇)

奉仕神学生：原 こそも

序) 一年をふりかえって

- ・失ったもの、与えられたもの、痛手を負ったこと、感謝できること
- ・いったん立ち止まって、ふり返ることで新しい一年へ

1) 恵みとさばきを土台として (1 節)

- ・詩篇 101 篇は、王の「所信表明」のようなもの
- ・「恵みとさばき」を歌う。



→「さばき」...民が平和に過ごせるために、王がもっている権限のこと

- ・王としての土台は「恵みとさばき」である。

2) 全き道に心を留める (2 節～5 節)

- ・立派過ぎるほどの宣言であるが、ダビデもこの宣言にかなう歩みはできなかった。王であっても神の前に罪人に過ぎない。

→それでも、どこに変えるべきなのかを宣言することは、戻するためのしるしになる。

- ・罪なき歩みは、まぎれもなく神の望まれるものである。
しかしそれを全うできる人はいないからこそ主は来られた。



3) 私と共に住むために (6 節～8 節)

- ・実際の社会、実際の歩みとのギャップの中で、どこに目を向けるのか。
- ・目の前の出来事に一喜一憂するのではなく、静かに心に留める人に目を向ける＝仲間になる。

→目の前に見えていることだけでなく、その背後にある「何か」を見ようとすること。

結) 朝ごとに

- ・今、目の前にあるものは何か。それを越える恵みとさばきを歌おう。

名前(_____)

◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① 今年一年、神様がお恵み下さったこと(よくして下さったこと)は何でしょう。

② ここ最近、このままではダメだよと教えられていること(罪)は何でしょう。

◆お話を聞いた後で、考えましょう。

③ 今年一年がどんな「道」だったか、絵にしてみましょう。(うらに)

～教会クイズ(教理問答)～

Q032 「そこから来て、生きている人と死んだ人とをさばかれます」とは、どういうことですか。

A032 イエスさまはもう一度、この にこられて、救いを して下さるということです。

そのとき、生きている人も、死んだ人も さばかれます。イエスさまを信じる人にとっては、希望の時、慰めの時となります。

□ヒント□ ルカ 21:25-28、第一テサロニケ 5:2-11、第二テモテ 4:1-8、ヘブル 9:27-28、第二ペテロ 3:8-13、黙示録 3:1-6

